別紙３－２

仕様書

ロボット・ＡＩ部

１．件名

(c-2)「建築確認検査等への新技術活用に関する調査」

２．調査の必要性

デジタル技術が進歩する中、建築物の計画、施工、維持管理の各段階における AI、IoT、BIM 等の新技術の活用の可能性について、その活用のニーズを洗い出した上で、当該ニーズに応じて、建築基準法に基づく建築確認・検査、定期報告などに係る規制の精緻化に向けた課題の整理等を行う必要がある。

また、当該課題整理をもとに、官民を含めた建築規制のガバナンスのあり方の検討を行う必要がある。

３．具体的な調査の内容

建築物の計画・施工・維持管理の各段階における AI、IoT、BIM 等の新技術の活用の可能性に係るニーズ等の調査を行い、当該ニーズに応じた新技術の活用による規制の精緻化に向けた課題を整理する。

また、課題整理を踏まえ、新技術の活用に係る建築規制のガバナンスのあり方を検討する。

４．最終目標

新技術の活用のニーズに応じて規制の精緻化の可能性及びその課題を整理し、当該整理をもとに、官民を含めた建築規制のガバナンスのあり方について検討を行い、結果をとりまとめる。

５．調査期間

ＮＥＤＯが指定する日から 2021 年 3 月 19 日（金）まで

６．予算額

1,500万円以内

７．報告書

提出期限：2021 年 3 月 19 日（金）

提出部数：電子媒体ＣＤ－Ｒ（ＰＤＦファイル形式）　１枚

提出方法：「成果報告書・中間年報の電子ファイル提出の手引き」に従って提出のこと。

https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual.html

８．報告会等の開催

委託期間中又は委託期間終了後に、成果報告会における報告を依頼することがある。